管理番号 ： NO-6773701#2

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	レジオキックＡ
会社	日本曹達株式会社
住所	〒100-8165 東京都千代田区大手町２－２－１
担当部門	化学品事業部環境化学品部環境化学品課
電話番号	03-3245-6148
FAX 番号	03-3245-6248
緊急連絡先情報	化学品事業部環境化学品部環境化学品課
電話番号	03-3245-6148
SDS 作成日	2004 年 11 月 11 日
SDS 改訂日	2016 年 04 月 01 日(05 版)

2. 危険有害性の要約

分類の名称

該当しない。

物理的及び化学的危険性

1)異物（分解を誘発・促進する金属類、酸性物質、予期せぬ雨水など）の混入、あるいは外部からの熱によって分解を起こすことがある。分解時は酸素ガス、水（又は水蒸気）及び熱を発生する。熱がこもると分解が加速し、密閉容器では破裂することがある。

2)支燃性を有し、火災等の火勢を強めることがある。

有害性

1)粘膜に対しては刺激性がある。水溶液は、弱アルカリ性を呈する。

2)眼に入った場合は痛みを伴い、眼を損傷する恐れがある。

3)飲み込んだ場合食道や胃の粘膜を傷める。

環境影響

水に溶けると弱アルカリ性及び酸化性を示すので、水生生物に有害な影響を及ぼす可能性がある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　　混合物

化学名　　過炭酸ナトリウム及び炭酸ナトリウムを含む洗浄剤

化学名	CAS 番号	濃度	化学式	官報公示整理番号	
				化審法番号	安衛法番号
過炭酸ナトリウム	15630-89-4	70 - 80%	Na2C03・1.5H202	1-143 1-164 1-419	なし（公表化学物質扱い）

炭酸ナトリウム	497-19-8	ー%	Na2C03	1-164	なし（公表化学物質扱い）

《助剤》

CAS No.　　記載せず

化審法　　記載せず

安衛法　　記載せず

《過炭酸ナトリウム の別名》

炭酸ナトリウム過酸化水素付加物

《炭酸ナトリウム の別名》

ソーダ灰

軽灰、一般工業用

4. 応急措置

飲み込んだ場合

直ちに口内を水ですすぎ、水または牛乳を飲ませた後、速やかに医師の手当てを受ける。

吸入した場合

速やかに新鮮な空気の場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。安静にし、医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

多量の水（望ましくは微温湯）で洗い流す。

眼に入った場合

直ちに多量の水（流水）で１５分間以上洗眼（まぶた隅々まで）し、速やかに眼科医の手当てを受ける。洗浄が遅れたり、不十分だと眼に障害を生ずるおそれがある。

5. 火災時の措置

火災時の措置

不燃性であるが、火災等の熱により加熱されると分解して酸素ガスを発生し、火災を助長することがある。移動可能な製品は、速やかに安全な場所に移す。

適する消火剤

火災に巻き込まれた場合は、大量の水で消火する。（注水が不十分な場合、分解により支燃性の酸素を発生する）

6. 漏出時の措置

漏出時の措置

1）回収作業は必ず保護具を着用し風上で行う。保護具については「暴露防止措置」の項を参照のこと。

2）漏出したものを元の袋に戻したり、くず入れに捨ててはならない。

3) 空容器にできるだけ回収する。その跡は大量の水で洗い流す。その際、濃厚な廃液が河川等に流出しないよう注意する。

4) 回収した製品の処理は、「廃棄上の注意」の項を参照して行うこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

1) 分解を促進する異物の混入を避け、一旦容器や袋から出したものは元の容器や袋に戻してはならない。

2) 炎、裸火又は高温体との接触を避け、使用場所ではみだりに火気を使用しない。

3) 使用場所の付近に可燃物、引火性物質を置かない。

4) 局所排気措置を運転するなど、粉じんの飛散防止措置をとる。

5) 取扱いには必ず保護具を着用して行い、取扱い後は、手洗いや洗顔を十分に行う。保護具については「暴露防止措置」の項を参照のこと。

保管

1)換気のよい、直射日光のあたらない乾燥した屋内に保管する。

2)水濡れや異物混入の起こらない場所に保管する。

3)塩酸や硫酸等の酸類（レジオキックＢを含む）といっしょに保管しない。

8. ばく露防止及び保護措置

《過炭酸ナトリウム のデータ》

厚生労働省（管理濃度）	設定されていない
日本産業衛生学会（許容濃度）	記載なし（2009 年度）
ＡＣＧＩＨ（TWA）	記載なし（2009 年度）

《炭酸ナトリウム のデータ》

厚生労働省（管理濃度）	設定されていない
日本産業衛生学会（許容濃度）	吸入性粉塵：2.0mg/m3 ， 粉粉塵：8.0mg/m3
ＡＣＧＩＨ（TWA）	総粉塵：10.0mg/m3
ＯＳＨＡ（TWA）	吸入性粉塵：5.0mg/m3 総粉塵：15.0mg/m3
発ガン性　ＩＡＲＣ	記載なし
発ガン性　ＯＳＨＡ	記載なし
発ガン性　ＮＴＰ	記載なし
発ガン性　日本産業衛生学会	記載なし

設備対策

設備の密閉化、局所排気装置または全体排気装置の設置を行う。また洗面所の設置が望ましい。

保護眼鏡

ゴーグル型

保護手袋

ゴム、塩化ビニール又はポリエチ手袋

呼吸用保護具

防塵マスク

保護衣

長そで長ズボン

9. 物理的及び化学的性質

形状	顆粒
色	白色

密度

嵩密度：0.79

pH

10.2（2.5%水溶液 25℃）

溶解度

良く溶ける（水）

その他の物理／化学的性質

その他

1）水に溶解すると過酸化水素が解離し、弱アルカリ性を呈する。放置すると過酸化水素は徐々に分解して水と酸素ガスになる。

2）酸と混合すると発熱し、二酸化炭素ガスを放出する。

その他の危険性情報

引火点

該当せず。

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性

1)通常の取り扱いでは安定であるが、熱や分解を促進する物質との接触によって分解する。吸湿や水濡れによっても分解が誘発・促進される。

2)分解時は酸素ガス、水（又は水蒸気）及び熱を発生する。熱がこもると分解が加速され、容器が破裂する恐れがある。

3)弱い酸化性がある。

11. 有害性情報

有害性情報

皮膚に触れると痛みを伴い、眼の粘膜を損傷する恐れがある。

皮膚刺激性

《過炭酸ナトリウムのデータ》

刺激性なし （ｳｻｷﾞ）

《炭酸ナトリウムのデータ》

強い刺激性 （ｳｻｷﾞ） 〔＊01〕

眼刺激性

《過炭酸ナトリウムのデータ》

眼粘膜を刺激し，角膜周擁充血、角膜一部膨隆を起こす。 （ｳｻｷﾞ） 〔＊02〕

《炭酸ナトリウムのデータ》

非常に強い刺激性 （ｳｻｷﾞ） 〔＊01〕

急性経口毒性

《過炭酸ナトリウムのデータ》

LDL0 （ﾗｯﾄ） ：2400mg/kg

LD50 （ﾏｳｽ） ♂：2050mg/kg　♀：2200mg/kg〔＊02〕

《炭酸ナトリウムのデータ》

LD50 （ｳｻｷﾞ） ：4000mg/kg〔＊01〕

LD50 （ﾏｳｽ） ：4200mg/kg〔＊01〕

---

12. 環境影響情報

環境影響情報

水に溶けるとアルカリ性で、酸化性を有するので、水生生物に有害な影響を及ぼす恐れがある。

急性魚毒性

《炭酸ナトリウムのデータ》

TLm (Gambusia) ：740ppm (96hr)

TLm (Blue gills) ：300ppm (96hr)

TLm (Shiners) ：250ppm (96hr)

---

13. 廃棄上の注意

廃棄上の注意

1)大量の水で希釈し、過酸化水素分を亜硫酸ナトリウム等で分解した後、酸（レジオキックＢ等）で徐々に中和してから廃棄する。

2)中和時には二酸化炭素を発生するので、換気を良くして行う。

3)濃度の濃い酸で中和すると発熱が大きく、又二酸化炭素ガスの発生が激しくなり容器から吹き出すことがあるので、必ず薄い溶液で希釈する。

---

14. 輸送上の注意

輸送上の注意

1)荷役中の取扱いは、慎重丁寧に行い、落下、荷崩れ、破損、水濡れ防止等の注意をして行う。

2)分解を促進する恐れのあるものとの接触あるいは吸湿や水濡れを避ける。
3)運搬中は直射日光や雨水を避ける為覆いを掛ける。
4)可燃物及び酸類との混載を避ける。

国連分類(クラス)
該当せず

国連番号-品名
なし

15. 適用法令

労働安全衛生法	：	通知対象物質　非該当
毒物及び劇物取締法	：	非該当
消防法	：	非該当
化学物質排出把握管理促進法（ＰＲＴＲ法）	：	非該当

16. その他の情報

記載内容の問合せ先
化学品事業部環境化学品部環境化学品課　（ＴＥＬ：03-3245-6148　ＦＡＸ：03-3245-6248)

引用文献
The Sigma-Aldrich Libratry of Regulatory and Safety Data, pp. 3403, 3397(1993)
既存化学物質データ要覧 第１巻 一般化学品 p. ２９９ (1974)
Sewage and Industrial Wastes Vol. 29. No. 6(1957)
Journal WPCF Vol. 37. No. 9(1965)
The Profressive Fish-Culturist July(1968)
RTECS # VZ4050000, FG075000
Dangerous Properties of Industrial Materials, 7th ed. (1988)
〔＊01〕ＲＴＥＣＳ　主要化学品1000種毒性データ特別調査レポート(海外技術資料研究所1973)
〔＊02〕食品衛生学雑誌 Vol. 27 No. 5 p553(1986)

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人　日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）
中毒１１０番　一般市民専用電話　（大　阪）　072-727-2499（情報料無料）
365日24時間対応

医療機関専用有料電話	（つくば）	029-852-9999（情報料無料） 365日 9～21時対応
	（大　阪）	072-726-9923（1件2000円） 365日 24時間対応
	（つくば）	029-851-9999（1件2000円） 365日 9～21時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、
情報料1件につき2,000円を徴収します。